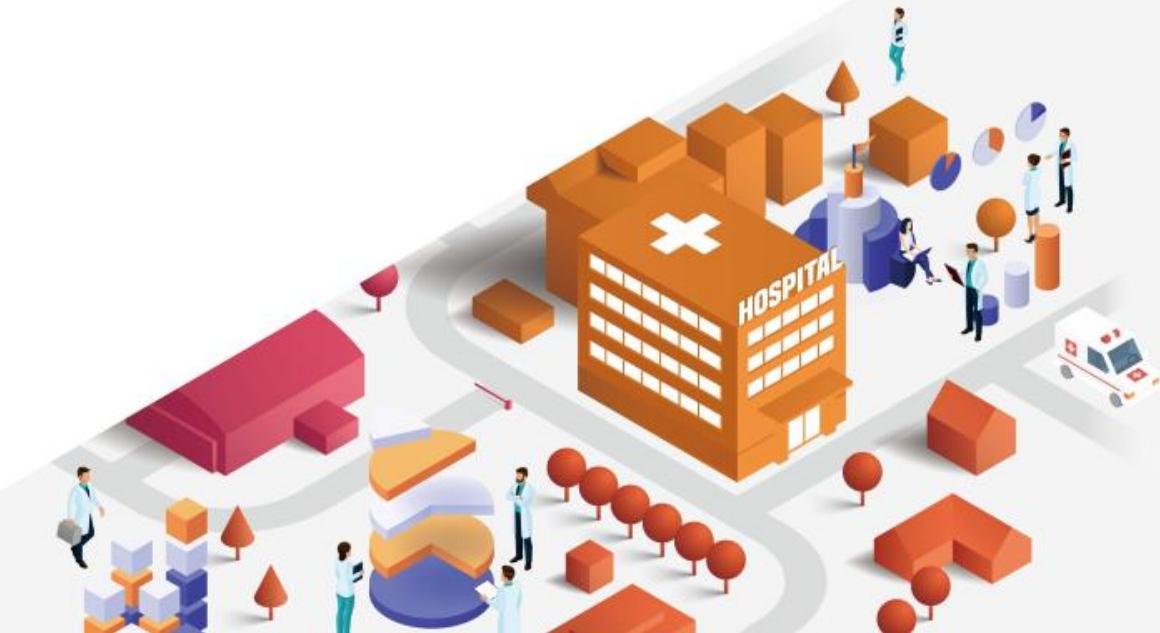


# 会社説明会

メディアホールディングス

2025. 5. 17

東P: 3154



## 1 企業概要

## 2 業界を取り巻く環境

## 3 業績の状況

## 4 今後の成長戦略

## 5 資本コストと株式に関する情報

## 6 社会貢献活動



# 企 業 概 要



事業内容： 医療機器の販売及びメンテナンス事業  
介護福祉機器の販売及びレンタル事業

設立

2009年7月

(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.8億円

(2024年12月末現在)

従業員

2,589名

(グループ計 2024年12月末時点)

決算期

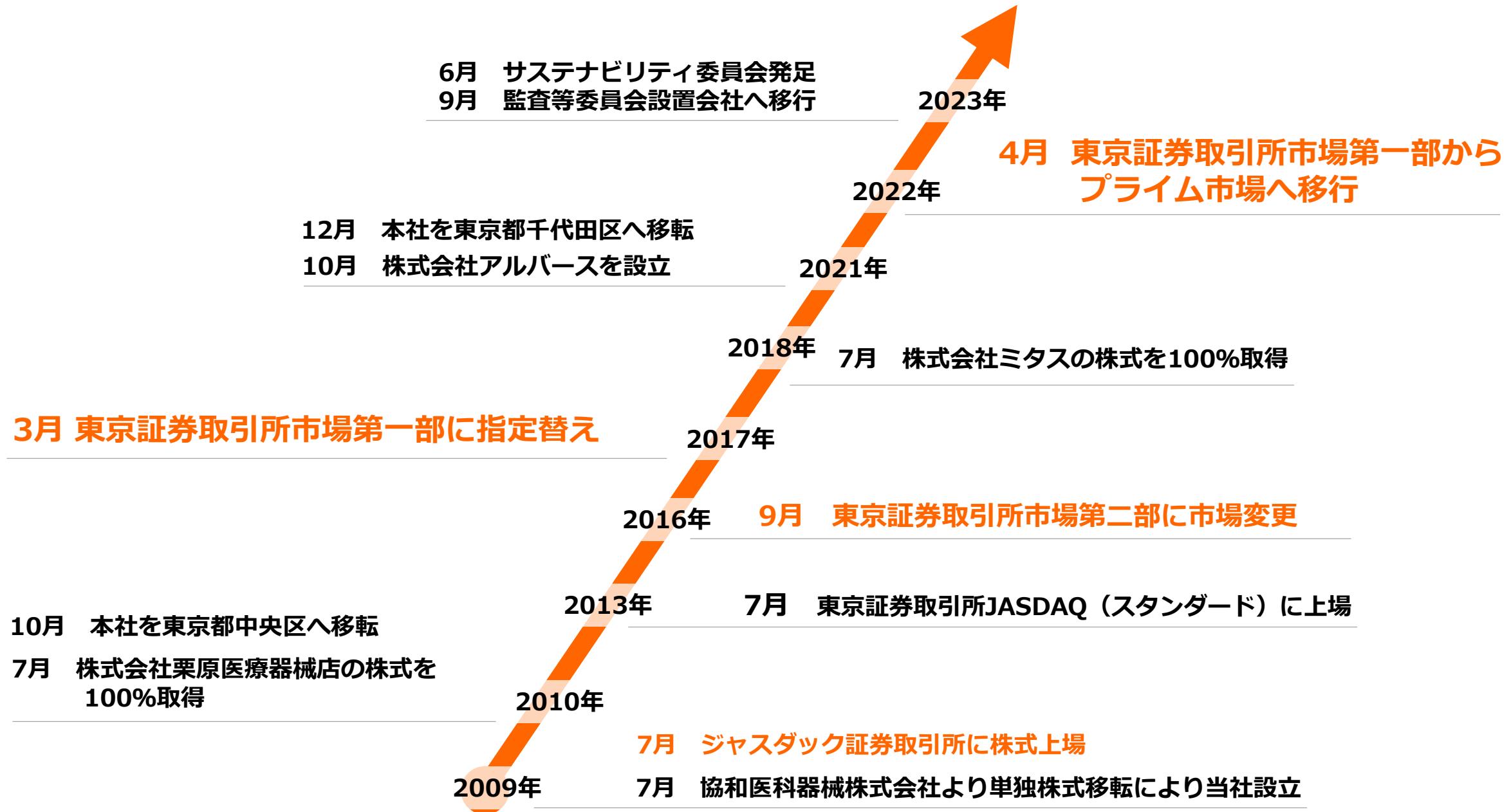
6月末

代表者

代表取締役社長  
池谷 保彦

所在地

東京都千代田区有楽町  
一丁目2番2号  
東宝日比谷ビル





国内有数の医療環境サプライヤーとしての  
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼  
それが私たちの強みです

### ■ 医療機器販売事業

- 株式会社アクティブメディカル
- 株式会社オーソエッジジャパン
- ノアインターナショナル株式会社
- 協和医科器械株式会社
- 株式会社秋田医科器械店
- 株式会社ミタス
- 株式会社栗原医療器械店
- 佐野器械株式会社
- 株式会社アルバース
- 株式会社アルセント
- マコト医科精機株式会社

グループ会社数

14



### ■ 医療機器の修理・保守

- 株式会社つむぐメディカル

### ■ ソリューションサービス事業

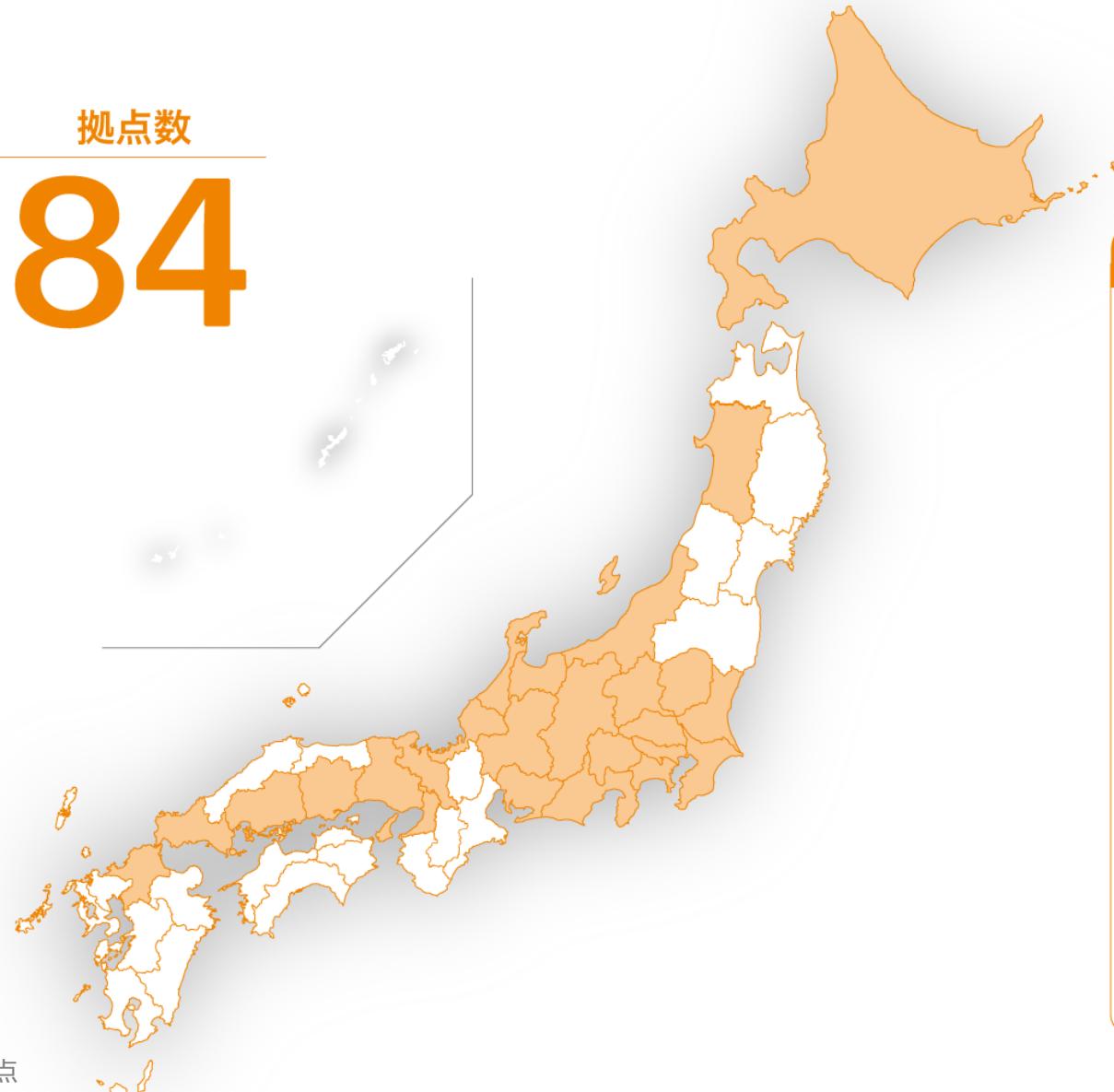
- メディアスソリューション株式会社

### ■ 介護福祉機器専門販売事業

- 石川医療器株式会社

拠点数

84



2024年12月末時点

※2025年6月期中間決算説明会資料より、拠点の集計対象と集計方法を見直しました。

## 都道府県別拠点数

北海道	7
秋田県	3
群馬県	6
栃木県	1
茨城県	2
千葉県	4
埼玉県	5
東京都	10
神奈川県	6
山梨県	2
長野県	1
新潟県	2
静岡県	10
愛知県	7
岐阜県	1
富山県	1
石川県	1
福井県	4
大阪府	3
京都府	1
兵庫県	2
岡山県	1
広島県	1
山口県	1
福岡県	2

## 医療機器販売事業

国内の医療機器メーカー等から仕入れた医療機器を医療施設に販売、修理及びメンテナンスを行う。販売に付随して、医療材料の購買・在庫管理システムを医療施設、医療材料ディーラー、SPD事業者に提供。

### 先端医療機器



画像提供：オリンパスマーケティング株式会社

### 消耗品・備品



※SPD : Supply Processing & Distributionの略。病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステム

## 介護福祉事業

国内の医療機器メーカー等から仕入れた介護福祉機器を医療施設や個人へ販売及びレンタル。

### 介護福祉機器・用具のレンタル

- 介護ベッド、車椅子、シルバーカー、杖、介護衣類、リハビリシユーズ、衛生材料等

#### 介護保険の福祉用具貸与対象品目一例



特殊寝台  
および付属品  
床ずれ防止  
用具  
車いすおよび  
付属品  
歩行器  
歩行補助杖

画像：厚労省ホームページ 福祉用具貸与より

### 介護福祉機器・用具の販売

- 介護福祉機器・用具  
介護ベッド／車椅子等
- ストーマ製品



## ▶ 【仕入れ】日本と世界の医療機器メーカー-ranking

### 世界の医療機器メーカー売上高(2022年)

順位	企業名	売上高 (単位: 億円)	シェアの高い分野
1	メドトロニック (アイルランド)	47,535	心臓血管・脊椎
2	アボット (米)	45,015	心臓血管・糖尿病
3	ジョンソンエンドジョンソン (米)	40,590	整形外科・手術
4	シーメンス (独)	31,425	放射線科向け装置
5	ベクトンアンドディッキンソン (米)	30,375	医療用・細菌検査用機器
6	GE (米)	26,580	放射線科向け装置
7	ストライカー (米)	25,650	整形外科、手術用機器
8	カーディナルヘルス (米)	25,020	カテール、チューブ
9	フィリップス (オランダ)	25,005	診断・治療全般、口腔
10	バクスター (米)	19,170	腎不全、麻酔、疼痛管理

※1ドルあたり150円換算で計算



医療機器市場は非常に細分化されたマーケットという特徴をもっており、当社の取扱い品目数は100万点以上。

### 日本の医療機器メーカー売上高(2021年)

順位	企業名	医療機器を含むセグメント売上高 (単位: 億円)	シェアの高い分野
1	富士フイルム	8,017	画像診断装置、マンモグラフィ等
2	オリソパス	7,498	内視鏡、処置具 (腹腔鏡手術)
3	テルモ	7,033	心臓血管領域、画像診断装置等
4	キヤノン	4,800	血管撮影装置、画像診断装置
5	旭化成	4,159	血管透析、膜分離・吸着デバイス等
6	HOYA	4,075	眼内レンズ、コンタクトレンズ、内視鏡等
7	ニプロ	3,735	透析、カテール、人工心肺等
8	シスメックス	3,638	血液分析装置、検査装置等
9	日本光電工業	2,051	脳神経機器、心電計等
10	帝人	1,836	酸素濃縮装置、SAS治療器等

(出典) 経済産業省: 医療機器産業を取り巻く課題について 第1回WG参考資料一 より抜粋  
[001\\_s03\\_00.pdf \(meti.go.jp\)](http://001_s03_00.pdf (meti.go.jp))

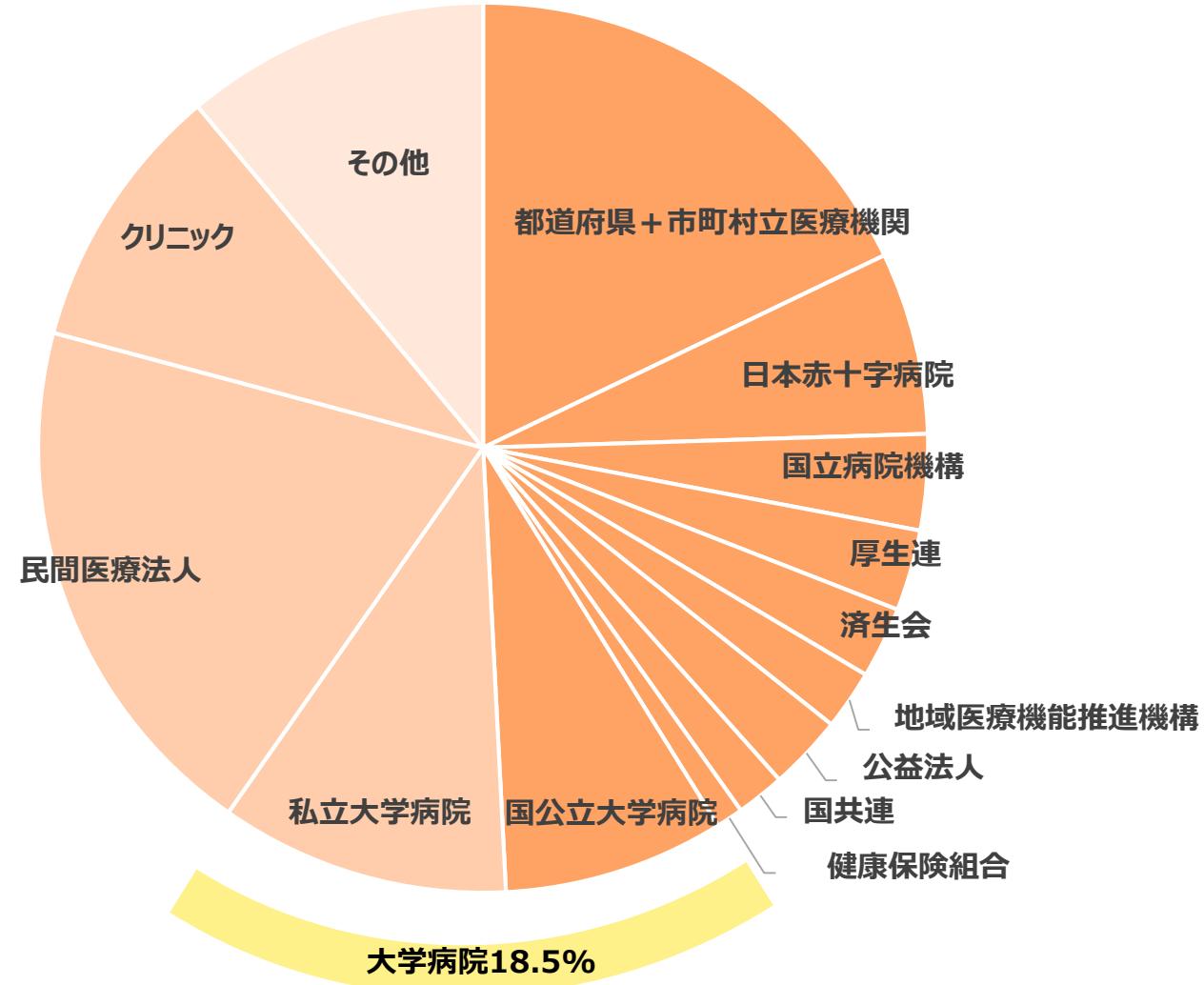


医療機器の世界の売上高上位は海外メーカーが占めている。当社売上の6割以上が海外メーカー製品である。

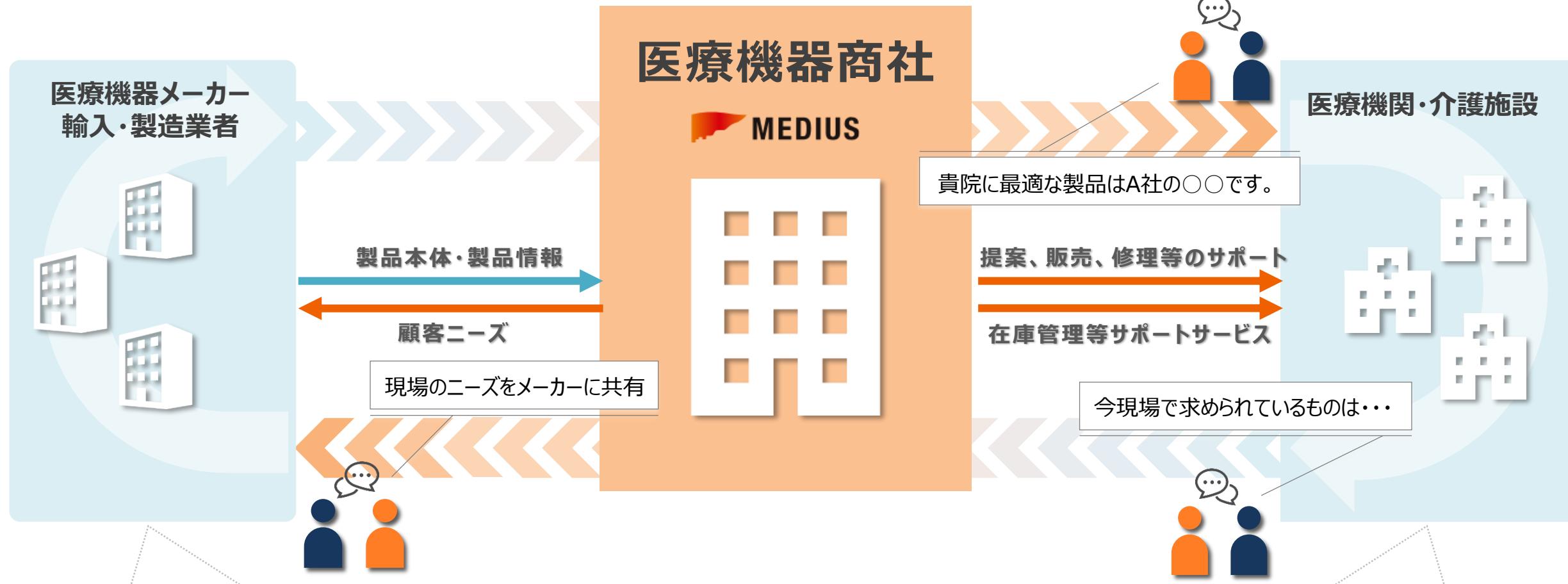
▶ 【販売】当社グループ医療機器売上高 顧客セグメント

公的医療機関	都道府県 + 市町村立医療機関	17.9%	49.2%
	日本赤十字病院	6.6%	
	国立病院機構	3.5%	
	厚生連	2.9%	
	済生会	2.6%	
	地域医療機能推進機構	2.2%	
	公益法人	2.7%	
	国共連	1.8%	
	健康保険組合	1.0%	
	国立大学病院	8.0%	
民間医療機関	私立大学病院	10.5%	39.7%
	民間医療法人	19.5%	
	クリニック	9.8%	
その他	その他	11.1%	11.1%

2024年6月期時点  
※代理店取引先の顧客病院も含む



## ▶ 医療機器卸業界の商流（医療機器商社が果たす役割）



- 商社を通すことで、多くの医療機関と効率的にやり取りすることができる
- 商社が地域ごとに持っている豊富な販売網を活用し、多くの医療機関に効率よくアクセスできる
- 販売、メーカーサポート、問合せ対応、顧客情報管理など、個々の医療機関との詳細なやり取りを商社と分担できる

メリット

- 商社を通すことで、メーカーサポートに加え、商社の独自サービスも受けられる
- 商社で取り扱っている複数メーカーの製品を、比較した上で購入できる
- 購入製品のメーカーにかかわらず、商社独自の運営サービスを受けられ、医療行為に専念しやすくなる

## ▶ 当社グループのトータルソリューション

医療機関では、医師の働き方改革への対応や医療費抑制政策による収入の減少、光熱費や人件費等の高騰など経営課題がますます深刻なものとなっています。

メディアスグループは、より良い医療環境の構築をめざす医療機関に必要な複数のソリューションツールを提供することで医療や介護の現場を多方面からサポートし、信頼を獲得しています。



## ASOURCE DATABASE

メディアホールディングスが独自に構築した日本最大級の医療材料データベース。メディアグループのソリューションツールの基盤であり、高い網羅性と信頼性、即時性で情報収集と業務効率の改善に貢献。

→**社内業務**

同業社からも評価を受け、アライアンスのきっかけとなりうる。

→**販路・事業拡大**

## Meccul 分析サービス

きわめて特殊な医療材料市場において、個々の医療機関の購買状況を多角的に分析し問題点を見つけ、購買マネジメントをサポートする。

約2,000病院分の医療材料価格データを集約し、そのデータをもとに、自院の購買データを他院や平均値と比較して見ることで、市場における価格の適正度をつかむことができ、価格交渉や適正な商品の選択に繋げる。

→**医療現場の業務と経営の効率化を支援**

## SPD

SPD (Supply:供給、Processing:加工、Distribution:分配) 米国生まれの病院内の物流管理効率化策。

従来型SPDの物流管理効率化に加え、医療材料の適切な選択や妥当な購入価格の設定などに貢献。

→**医療現場の業務と経営の効率化を支援**

## ASOURCE STORE

中小規模病院向けの簡易SPDサービス。

医療材料を適切に管理し、消費状況を把握して必要な医療材料を一括供給。看護師の物品管理業務にかかる時間や、不良在庫・使用期限切れなどのムダをカット。それらをデータ化して可視化することにより、発注数の推移の把握も可能に。

→**医療現場の業務と経営の効率化を支援**

## SURGELANE

病院経営の要となる手術室の収支を“見える化”。間接業務の効率化と手術収益の向上で、病院全体の収支改善へ。

手術に使用する医療材料の管理や準備など病院内における間接業務の効率化を支援し、さらには手術室の稼働や収支の状況などの“見える化”、改善を促す。2つの機能を兼ね備えた手術室運営支援サービス。

→**医療現場の業務と経営の効率化を支援**

# 業界を取り巻く環境



## ▶ 人口推移と医療・介護費の将来見通し

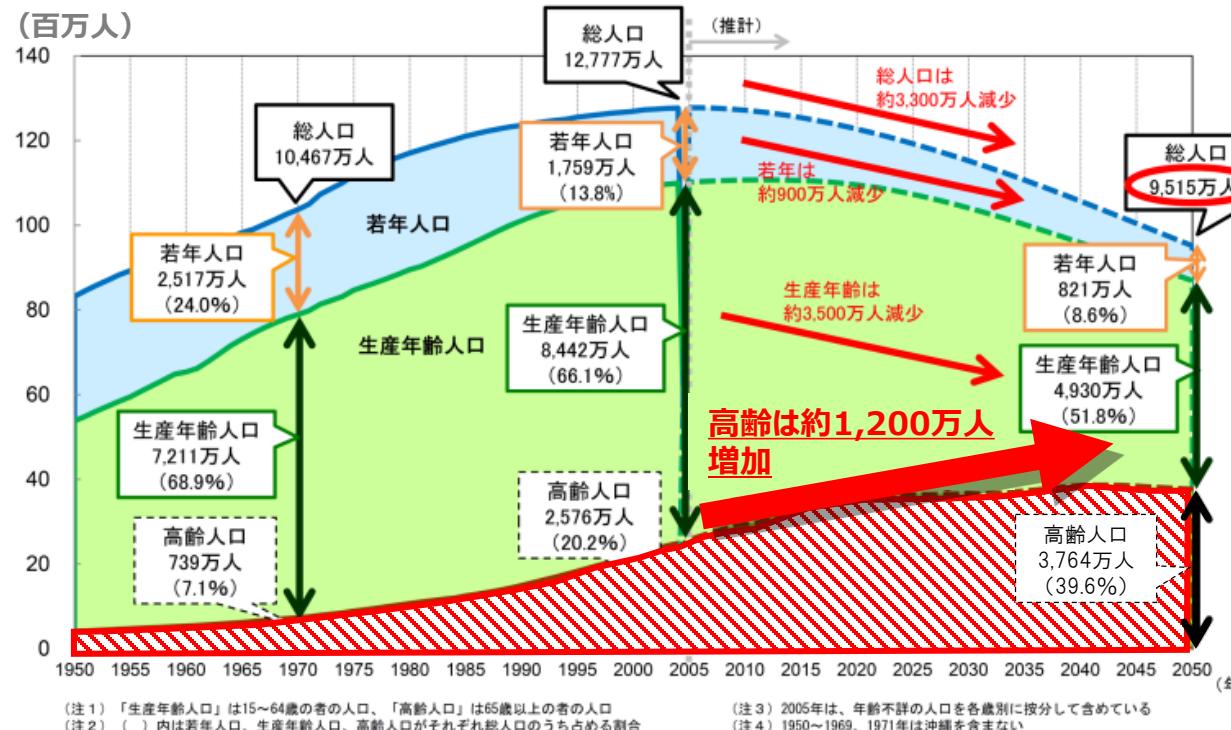
### 人口推移

- ▶ 「2025年」問題 団塊世代が後期高齢者となる75歳を迎える。  
総人口は減少傾向だが、高齢人口は増加傾向が続く。
- ▶ 高齢化率も2005年20%、2015年27%、2025年30%、2040年35%になる見通し

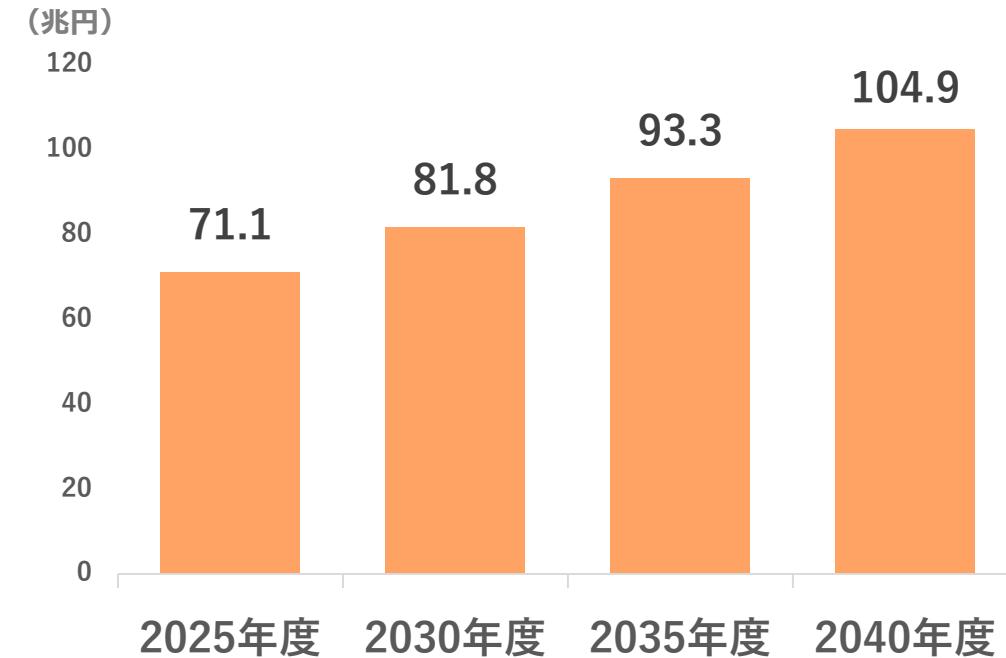
### 医療・介護費の将来見通し

- ▶ 高齢化に伴い、医療・介護費は増加する見込み

#### 人口推移

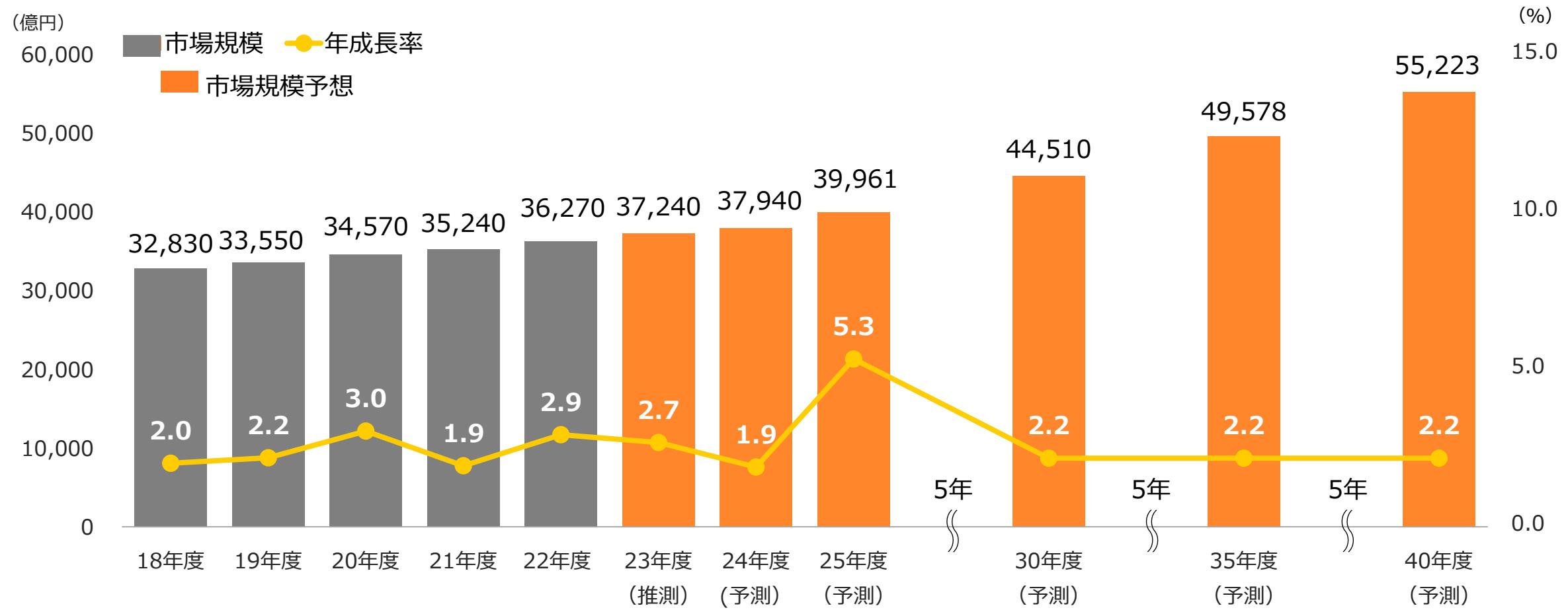


#### 医療・介護費の将来見通し



※内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」を基に作成。

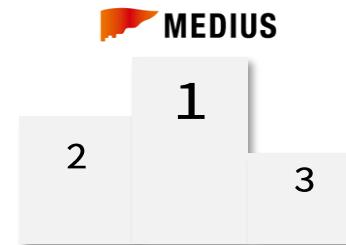
※地域医療構想、医療費適正化計画、介護保険事業計画を基礎とした厚生労働省「計画ベース」の中間値を見通し値とした。



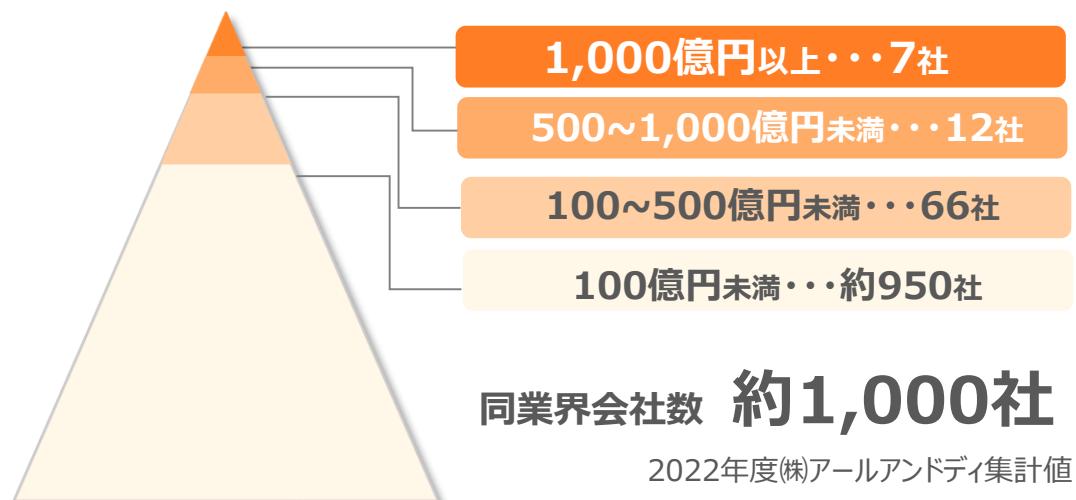
※出所：2024年（推測）までは株式会社アルアンドディ「医療機器・用品年鑑2024年版 市場分析編」

2025年以降は公益財団法人医療機器センター付属 MDSI医療機器産業研究所「2025年及び2040年の医療機器市場の推計値から今後の産業を考える」の市場成長率予測より算定。

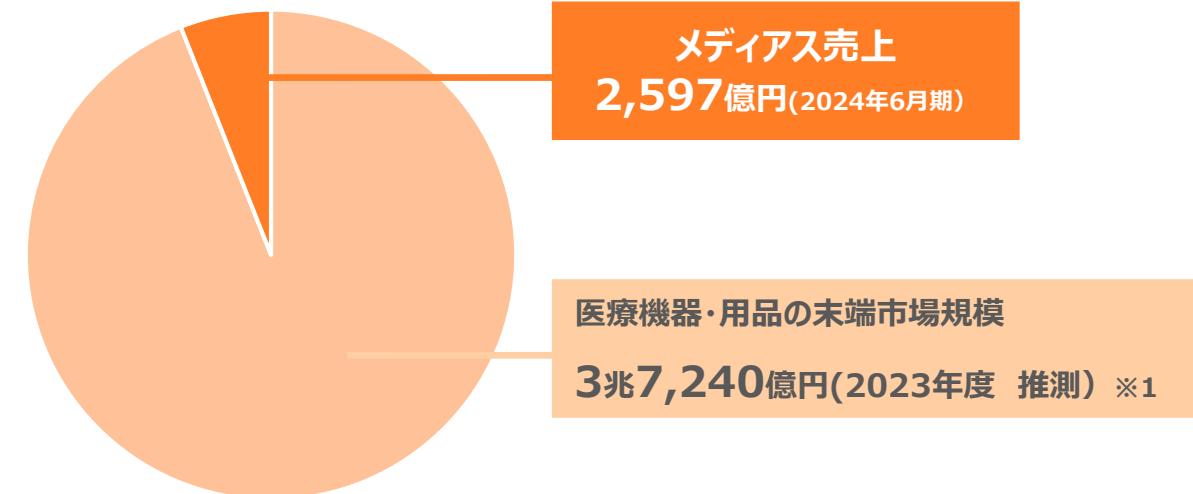
## 医療機器卸売販売額（連結） 国内1位



医療機器商社数



医療機器の末端市場規模



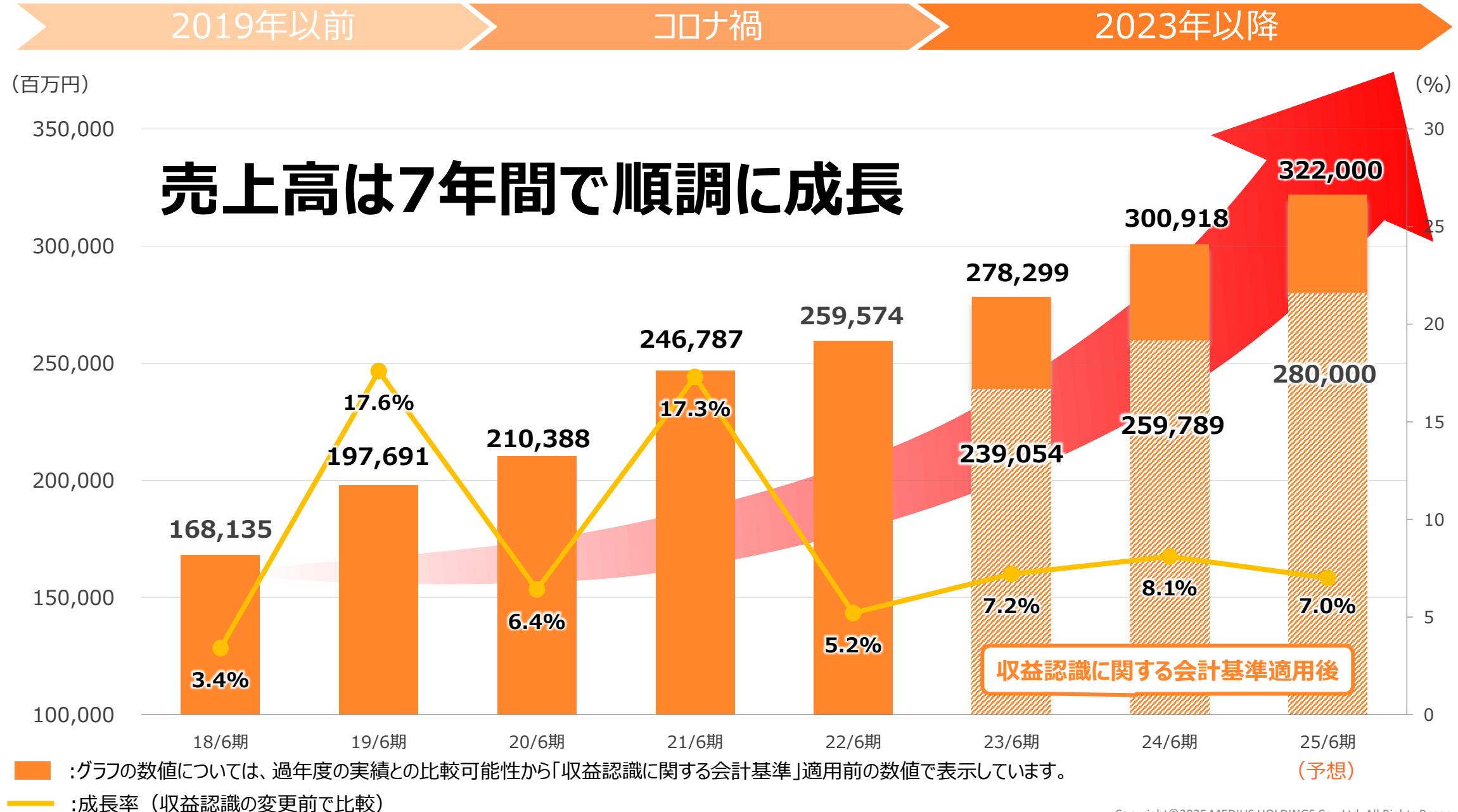
出典：医療機器・用品年鑑2024年版市場分析編(株)アールアンドディ

※1 医療機器・用品年鑑2024年版市場分析編(株)アールアンドディ

→M&Aを中心にまだまだシェアアップの余地がある

# 業績の状況





(百万円、%)

項目	24/6期中間 (実績)	25/6期中間 (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売 上 高	126,713	142,704	100.0	15,991	112.6
医 療 機 器 販 売 事 業	123,824	139,709	97.9	15,885	112.8
介 護 ・ 福 祉 事 業	2,888	2,994	2.1	106	103.7
営 業 利 益	680	751	0.5	70	110.3
経 常 利 益	899	983	0.7	83	109.3
中 間 純 利 益	505	406	0.3	▲98	80.5
1 株 あ た り 中 間 純 利 益 ( 円 )	23.03	18.32	-	-	-

※実績：表示単位未満は切り捨てています。

※比率：小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。

この後、説明資料には2025年6月期 3Q（1~3月）決算状況のスライドがございますが、期日の関係で配布資料には記載がございません。ご了承ください。

(百万円、%)

項目	24/6期3Q (実績)	25/6期3Q (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売 上 高	193,116	219,511	100	26,394	113.7
医 療 機 器 販 売 事 業	188,751	214,929	97.9	26,178	113.9
介 護 ・ 福 祉 事 業	4,365	4,582	2.1	216	105.0
営 業 利 益	1,653	2,027	0.9	374	122.6
経 常 利 益	1,974	2,408	1.1	434	122.0
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,146	1,370	0.6	224	119.6
1 株 あ た り 当 期 純 利 益 ( 円 )	52.27	61.72	-	-	-

※実績：表示単位未満は切り捨てています。

※比率：小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。

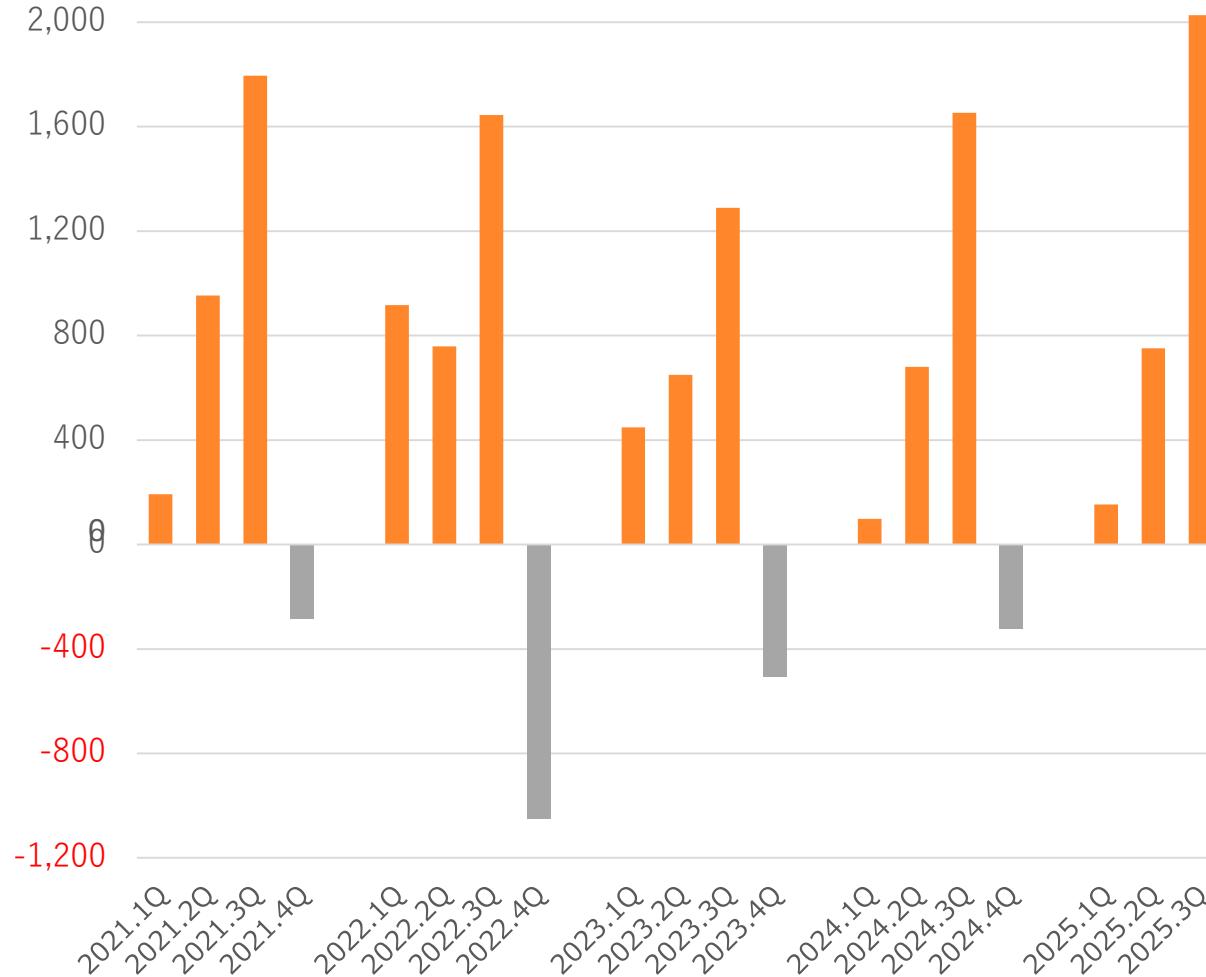
## 2025年6月期 業績見通し

(百万円)

項目	24/6期	25/6期	
	通期	通期 (計画)	前期比
売 上 高	259,789	280,000	107.8%
営 業 利 益	1,327	1,400	105.5%
経 常 利 益	1,750	2,000	114.3%
当 期 純 利 益	1,124	1,280	113.8%
売上高 営業利益率	0.5%	0.5%	-

※直近に公表されている業績予想から変更はございません。

## 《四半期ごと営業利益推移》



## 季節性の要因

### 《3Q：1-3月》

- ・医療機関の年度末にあたるため備品の購入が集中し、売上高を押し上げる。

### 《4Q：4-6月》

- ・3Qの反動減で売上高が低下する。
- ・増員により人件費が増加する。
- ・償還価格の改定に伴う販売価格の下落。
- ・減損処理が発生する場合がある。

### 《4Q～1Q：4-9月》

- ・温かい時期は、比較的患者が減る傾向がある。

※説明資料には2025年6月期 3Q (1-3月) の営業利益の記載がありますが、期日の関係で配布資料にはございません。ご了承ください。

# 今後の成長戦略



# 既存事業の強化 + M&A

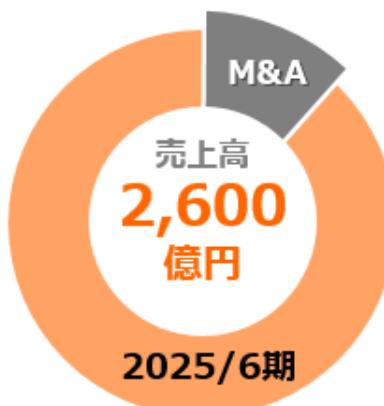


経常利益 年率10%UP

売上高・シェアについては、一定の拡大ができたため  
今後は経常利益を指標とし、収益向上に向けた改善に取り組む。  
引き続き既存事業の強化とM & Aによる規模拡大は継続して更なる成長をめざす。

2025/6期までの  
中期経営計画

売上高目標（M&A含む）は  
およそ達成!!



売上高  
2,597億円  
経常利益  
17.5億円  
2024/6期

売上高  
2,800億円  
経常利益  
20億円  
2025/6期

売上高  
3,200億円  
経常利益  
**24.2億円**  
2027/6期

## 当社グループの提供価値の最大化に向けた取組み

1 今までに培ったノウハウと情報ネットワークの活用

2 各種ソリューションツールの提供

3 急性期医療を提供する医療機関への営業強化

4 低侵襲手術分野への注力

5 プライベートブランド商品の製品拡充

6 各地域におけるB C P 対応が可能な体制を構築



良質かつ持続可能な医療材料・医療環境を提供

- ✓ 継続的にM & A及びアライアンスを推進
- ✓ グループ経営管理体制の強化

1 委員会等の組織横断的な取組み

2 人事交流を通じてグループ内の連携を強化

3 IT・物流等の業務インフラの整備

4 管理業務の集約による効率化

5 働き方改革に向けた業務環境の改善

6 PMI (M&A後の統合プロセス) の推進

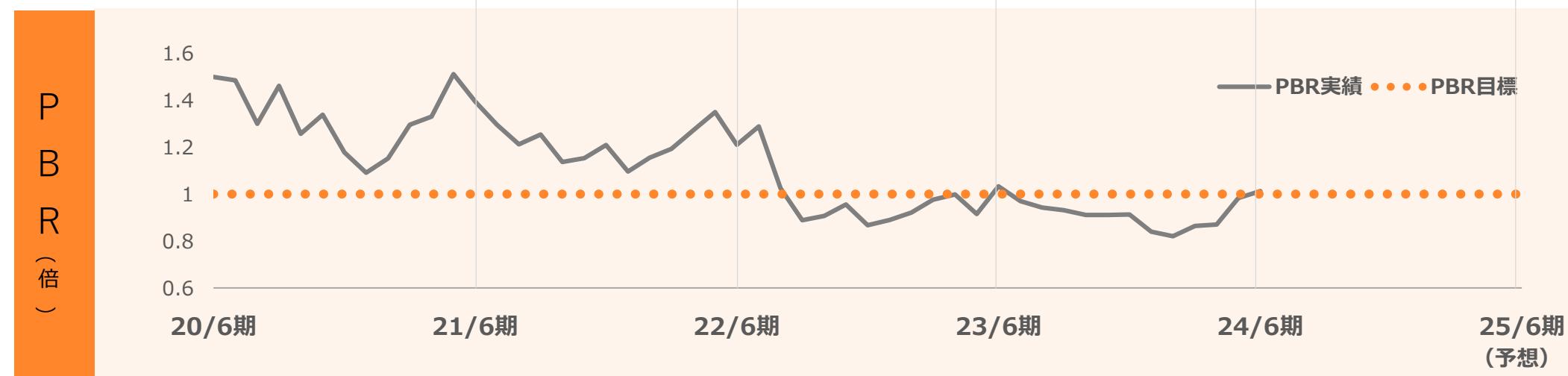
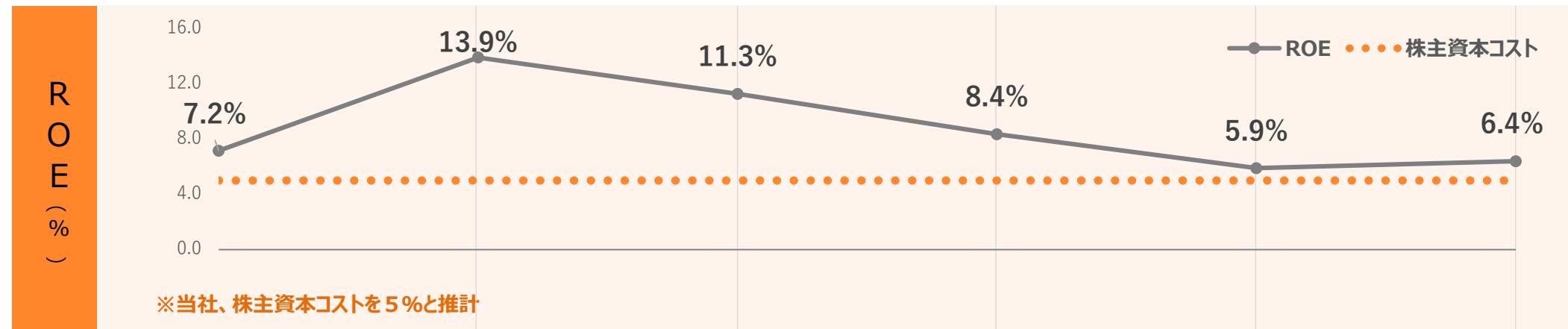
▶ 生産性向上やシナジーの早期発現による収益性の向上

# 資本コストと 株式に関する情報



## ▶ 資本コストや株価を意識した経営：現状分析

- ◆ 当社の株主資本コストは、CAPMベースで5%と認識。
- ◆ ROEは、2021年6月期をピークに低下傾向であるが、株主資本コストを上回る水準を維持。中期的には6%台で推移すると予測しているが、長期的には利益成長によって8%以上をめざす。
- ◆ PBRは、2022年6月期以降、株価下落に伴い1倍割れの状況で推移していたが、2024年6月期の第4四半期に上昇に転じ、PBRが1倍まで回復した。今後は各種施策による利益成長及び対外発信の強化により市場評価の向上をめざす。



ROE  
中期6%  
長期8%以上

## 収益性の改善

- ◆ 既存事業の構造改革と強化
- ◆ 新規領域における事業育成

粗利成長

販管費の抑制

経営資源配分の最適化

- ◆ 営業採算性の向上
- ◆ PB製品の取り扱い拡充
- ◆ 新規領域へのビジネス拡大
- ◆ 業務効率化による生産性の向上
- ◆ 注力分野及び人材への積極投資
- ◆ 効果的な人材配置

## バランスシートの最適化

- ◆ 自己資本の一定水準での維持
- ◆ 資本構成の最適化

資本効率の向上

投資  
M&A及びアライアンス

株主還元の強化

- ◆ CCCの改善（棚卸資産の圧縮、営業債権・債務の適正化）
- ◆ 成長投資案件への選択と集中
- ◆ 配当性向30%以上

## 配当性向

中・長期にわたる安定的な成長を維持するために必要な内部留保を確保しつつ、その成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針とし、連結での**配当性向30%以上**を目途に配当を行うこととしております。

	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	19.0
1株あたりの配当金	14.0	14.0	14.0	21.0	19.0	22.0	21.0	-
連結配当性向 (%)	36.7	-	32.1	22.1	22.3	32.2	41.0	33.0

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有いただけるよう、株主優待制度を実施しております。

基準日（6月末日）時点で1単元（100株）以上保有されている株主様を対象とさせていただいております。  
今後も、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

保有株式数	基準日	継続保有期間	内容
100株以上	毎年6月30日	定め無し	<b>1,000円相当</b> QUOカードもしくは社会貢献（国境なき医師団への寄付）
500株以上	毎年6月30日	定め無し	<b>6,000円相当</b> QUOカードもしくは社会貢献（国境なき医師団への寄付）

※毎年6月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（100株）以上を保有する株主様を対象といたします。（年1回）

# 社會貢獻活動



## 国連WFP「レッドカップキャンペーン」寄付

学校給食支援を通じて、学校に通えない子どもたちの栄養状態を改善し、就学の機会をつくり、勉学の意欲を高めて未来につなぐ取組み。賛同する企業が対象商品にレッドカップマークを付けて販売し、売上的一部分を寄付するキャンペーン。

- ✓ 2023年4月より、プライベートブランド「ASOURCE® SELECT」の売上的一部分を寄付。



## 「国境なき医師団」へのマッチングギフト

従業員から任意で寄付を募り、会社が同額を上乗せし総額を寄付するマッチングギフトを実施。株主優待の選択肢にも追加し、寄付の意思を表明された株主様への優待相当額に、当社が同額を上乗せして寄付しています。

- ✓ 2023年1月より従業員からの寄付の受付を開始し、2025年3月末まで、合計4,304,600円を寄付しました。
- ✓ 2024年度6月末を基準とした株主優待では、社会貢献をお選びになった株主様の寄付額に、会社として同額を上乗せし、合計176,000円を寄付しました。





静岡県内で、医療現場で働く人たちと対話し、本物の医療技術に触れる機会を提供するイベントを年1回開催しています。地域医療の担い手づくりへの貢献を目的とし、手術室を再現して実演する企画のほか本物の医療機器を使った体験や現役医師のトークライブなどを実施。2007年より開催しており、親子連れを中心に多くの方にご来場いただいています。



2025年は11月に、沼津市のキラメッセ沼津にて開催を予定しております。昨年静岡市にて開催したメディメッセージ2024では、地域の子どもたちを中心とした約5,500名の来場者に、本物の医療技術を体験していただきました。

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的としておりません。正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の情報に基づいて生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知ください。